

被爆ピアノ 平和コンサート

～ 命の大切さを奏でる魂の音 ～

1945年8月
 広島と長崎に
 原子爆弾が投下され
 多くの人が傷つき
 帰らぬ人となりました
 原爆で灼熱をあげ
 無数のガラスの破片が
 突き刺さったピアノは
 その奇跡の音色に
 決して縁り返してはいけない
 深い祈りをこめて奏でます

絵本「ミサコの被爆ピアノ」(松谷みよ子作) 朗読

綿のぼうし～被爆ピアノに捧げる曲～
 エリーゼのために
 ノクターン 20 番 遺作
 エーデルワイス
 千の風になって
 崖の上のポニョ
 手紙 ～拝啓十五の君へ～
 キセキ 他

ピアノ 山田紗耶加



2009年 8月 12日 (水)

PM 1:00 開場 PM 1:30 開演

西宮市 プレラホール

西宮市高松町4-8 プレラにしのみや5階

阪急 西宮北口駅から徒歩すぐ

入場無料(招待券が必要です)

歌 雑古 伊津美

ヴァイオリン 森下 保子

朗読 佐藤 恵子

被爆ピアノとは?

ヤマハアップライトピアノ(製造1932年) 絵本「ミサコの被爆ピアノ」(松谷みよ子作)、「ヒロシマのピアノ」(指田和子作)の題材になったピアノ。原爆投下時、爆心地から1.8kmの民家で被爆。爆風を受け、無数のガラスの破片がピアノの表面に突き刺さる。2005年7月所有者ミサコさんより、ピアノ調律師、矢川光則さん(広島市)に託される。

“招待券”の申込み方法〔ご招待人数は、300名です〕

往復ハガキ「往信面」の裏に①氏名・年齢 ②〒・住所 ③電話番号 ④同伴者氏名・年齢 ⑤ご利用生協名を明記しご応募下さい。

(1枚のハガキで3名様までお申し込みいただけます) 応募者多数の場合は、抽選となります。

締切り: 7月7日(火) 当日消印有効

発表: 7月下旬、返信ハガキで抽選結果をお知らせします。個人情報(招待券発行以外)には使用いたしません。



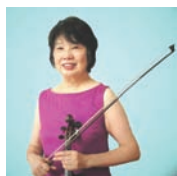
山田 紗耶加 (Yamada Sayaka) ピアノ

大阪府南河内出身。人の心を動かすハートフルな演奏は日本中多くの人に深い感銘を与え、センスあふれる作曲、編曲は各方面から高い評価を得ている。全国各地でコンサートに出演。人権・平和コンサートや被災地訪問も積極的に行う。1997年障害者国体の集団演技の作曲、演奏を担当。オリジナルCD「LOVERS」、被爆ピアノの演奏による「被爆ピアノ命新たに」を制作。 <http://sayaka3456.web.fc2.com/>



雑古 伊津美 (Zako Izumi) ヴォーカル

大阪音楽大学声楽科卒業。神戸芸術協会主催新人推薦演奏会に出演し、透明感があり、すぐれた歌唱力で高い評価を得る。どんなジャンルでも歌いこなし、神戸を中心にミュージックウィーク、ホテルやチャペルコンサートなどに多数出演。子どもたちにも人気があり、学校・施設などでもコンサートを行い、歌のお姉さんとしても活躍。



森下 保子 (Morishita Yasuko) ヴァイオリン

幼少より故西田秀雄、長谷川孝一両氏に師事。大阪音楽大学器楽学科ヴァイオリン専攻卒業。宝塚歌劇団オーケストラ(ソロプレーヤー)として活躍。洗練された音色は多くの人の心に響く。全国各地でコンサートに多数出演。オペラハウス管弦楽団団員を経て、後進の指導と音楽療法(認定音楽療法士)を行っている。日本弦楽指導者協会・日本音楽療法学会会員。



佐藤 恵子 (Sato Keiko) 朗読 司会

大阪府出身。人形劇団「ゲーチョキパー」、豊能町民劇団「風」を経て2001年より大阪市民劇団「かけはし座」に所属し、毎年、大阪市天王寺区のクレオ大阪中央での定期公演や、大阪市内の小中学校などでの巡回公演に出演。また、朗読グループ「たんぽぽ」の仲間とともに各地で朗読ライブも行っている

《主な演奏曲の紹介》

「綿のぼうし」 作曲 山田紗耶加 「綿のぼうし」は、防空頭巾のことです。二度と目を覚ますことのない母を呼び続ける子どもの頭にかぶった綿のぼうし、どうしようもない悲しみ、怒り、そして聞こえてくる悲しみだけの神様の声、ノー・モア！ 平和への祈りを切に願って作った曲です。

「ノクターン20番遺作」 作曲 ショパン 映画「戦場のピアニスト(原題“The Pianist”)」で使われ、有名になりました。この曲はナチスの収容所から奇跡の生還を遂げたピアニスト・作曲家のヴワディスワフ・シュピルマンの実話であります。このピアニストが収容所で受けた悲しみ、怒り、そして平和への願いをショパンの調べにのせます。

「サウンド・オヴ・ミュージック」 作曲 R. ロジャーズ 映画「サウンド・オヴ・ミュージック」幸せなトラップ一家のお父さんにナチスドイツからの召集札が届きます。「兵隊になれ」という命令です。ユダヤ人虐殺とともに、ドイツの国の中では多くの人が兵士としてとられていきました。

「ごめんなさい」 作詞/作曲 山田紗耶加 宇根利枝さんは、現在90歳、1945年広島に原爆が投下された時、軍需工場で被爆をしました。「何にもいらない！ 水を下さい！ 水を下さい！」のただその一言で力尽き果て亡くなっていく多くの人を、目の前にしました。でも、一適の水も上げることでもできなかったのです。戦後63年経った今も、宇根さんは、「ごめんなさい」を毎日、言い続けて暮らしています。そして「ごめんなさい」の気持ちを込めて、山の清らかな水を汲んでは、毎日、原爆慰霊碑への献水をし続けています。宇根さんは、今日も大きなペットボトル2本を買って物カートに入れ、お寺の山水を汲みに行きます。

「千の風になって」 訳詞・作曲 新井満 この世を去った人の魂は、生きている人の心にいつまでも残ります。優しさと力強く生きることを教えてください。愚かな人々によって命を奪われた人々の悲しい魂は、今生きる世界中の人々が決して忘れてはいけません。ノー・モア広島・長崎・・・

「手紙 ～拝啓十五の君へ～」 作詞/作曲 アンジェラ・アキ 戦争は最大の暴力であり、人権侵害です。今なお、世界のあちこちで戦争が行われています。家族や恋人、かけがえのない人は必ずいます。私たちは授かった命と、そして自分の人生を大切にしなければなりません。



矢川 光則 (Yagawa Mitsunori)

1952年広島生まれ。大手ピアノメーカーを経て、1993年、生まれ育った広島にヤガワ楽器調律センターを設立。1995年矢川ピアノ工房の設立を機に、古いピアノを再生し、発展途上国や福祉施設に寄付する奉仕活動を重ねる中、「被爆ピアノ」に出会う。被爆した父から聞いた話が深く心に刻まれ、「被爆ピアノで世界共通言語の音楽を通して、様々な人に平和について考えてもらおう」と2000年より平和記念公園でコンサートを始め、現在は全国で「被爆ピアノ平和コンサート」を行っている。

兵庫県生活協同組合連合会 主催 ピースアクション2009



コープこうべ・生協都市生活・神戸医療生協・尼崎医療生協
阪神医療生協・宝塚医療生協・姫路医療生協・ろっこう医療生協
神戸市民生協・全労済兵庫県本部・大学生協神戸事業連合
コープこうべ労働組合・コープこうべ定時職員協議会

お問い合わせ先 兵庫県生活協同組合連合会 (078) 391-8634